

企画経済常任委員会

委員長 牧野 一仁

副委員長 田村 俊二

委員 石井 勲 細田 勝治

北村 正夫 田中 正彦

鈴木 磯美

【調査研究項目】

1. 大井中央土地区画整理事業に関すること

* 現在進行中の事業であり、引き続き調査研究が必要

2. 未病バレー・ビオトピアに関すること

* 現在進行中の事業であり、引き続き調査研究が必要

3. 町の活性化施策について

* 商業・工業・農業・観光・相和地域対応など現状把握が必要

当委員会は、7名で構成され、議長も委員として参加しています。

このメンバーは一昨年の9月に改選され、今年9月までの任期となっています。

委員会の所管事項は教育、福祉以外のすべてであり、多岐にわたっていますが昨年引き続き、上記の3項目を調査研究のテーマに活動しました。

1. 大井中央土地区画整理事業について



公園の整備が待たれる区画整理地内

1. 大井中央土地区画整理事業については、区画整理組合事務所と以下の項目について、調査研究、意見交換を行い組合より次の説明を受けました。

- ① 区画整理組合より事業の進捗状況について説明をもらいました。
 - ・仮換地も終了し登記が終了して組合の解散となる
 - ・保留地処分について
- ② その後、組合の案内で公園事業予定地の視察をしました。

*新たな字名が決まりました。

「大井中央」(おおいちゅうおう)

なお、この字の区域の変更及び新たな字名の設定の効力は、土地区画整理法103条第4項規定による換地処分の公告があった日の翌日から生ずることになります。

2. 未病バレービオトピアについて



未病バレー[BIOOTPIA]

2. 未病バレービオトピアについては令和元年7月12日に（株）ブルックスホールディングスを訪問し、意見交換を行いました。

【説明の趣旨】

県は「県西地域活性化プロジェクト」の位置づけの中で、ヘルスケア・ニューフロンティアの推進を図るとし、「未病の改善」をキーワードとしている。

- (1) 未病の改善 ①食の改善 ②「運動」を楽しむ ③「心と体」を癒す。
- (2) 未病でつなぐ地域の活性化 ①産業基盤の形成 ②観光魅力アップ ③まちづくりを施策方向とし、その中心として「未病バレービオトピア」を位置付けている。

次に未病バレービオトピアを運営している(株)ブルックスホールディングスより第1期の経過の説明を受けた。今後は温泉施設の開設を行い、宿泊施設も段階的に整備開設していき、2021年度以降フルオープンしたいとのことでした。

(確認事項)

- (1) 温泉施設、宿泊施設について

大井町にある「いこいの村」、平成31年3月に立ち上がった「神奈川大井の里体験観光協会」が進める民泊との関係はどうか。

(ブルックス)大井町とは競合しないように計画を進めたい、調整を図っていききたい。

- (2) 行事の競合について

(ブルックス) 大井町と調整を図っていききたい。

3. 町の活性化施策について

*** 商業・工業・農業・観光・相和地域
対応など現状把握が必要**



一般社団法人
神奈川大井の里体験観光協会

3. 町の活性化施策については、商業・工業・農業・観光・相和地域など多岐にわたった問題がありますが、商業・工業・農業について今年度は平成 31 年 3 月に立ち上がり、町から出捐金の名目で 3 年分を予算化されており、1 年を経過した一般社団法人神奈川大井の里体験観光協会と意見交換会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日程は決まっていません。